

安全上のご注意

安全上のご注意

この取扱説明書には、次の規格管理番号に該当する製品情報が記載されています。RVE-Y1、ADI-N1

この取扱説明書は大切に保管してください

⚠ 警告: 電化製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項に必ず従ってください。

使用前にすべての指示をお読みください

⚠ 警告: ケガや損傷のリスクを低減するために、ロボットの設定や使用、お手入れの際には次の安全上のご注意をお読みの上、指示に従ってください。

本製品をお子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下かつ製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。お子様が本製品で遊ばないようご注意ください。また、そのような監督のない中でのお子様による清掃やお手入れは、絶対に行わないでください。

⚠ 安全上の警告を示す記号です。人体に損傷を及ぼす可能性を警告します。
ケガや死亡を防ぐために、必ず、この記号に続く安全上のメッセージに従ってください。

⚡ 感電のリスク

□ クラスII機器

⇒ 定格出力 (DC)

📖 取扱説明書を読む

♻️ 一般的なりサイクル記号

🔥 火事へのリスク

🏠 屋内専用

⇒ 定格入力 (DC)

👤 お子さまの手の届かない場所に置くこと

🔌 取り外し可能な電源

⚠ 危険

⚠ クラスIII機器

⇒ 定格入力 (AC)

警告: 回避しないと、重度のケガや死を招く恐れのある危険な状況を示します。

危険: 回避しないと、軽傷または中程度のケガを招く可能性がある状況を示します。

注意: 回避しないと床・家屋・家財等の損害の原因になる状況を示します。

一般



- ロボットには、お住まいの地域で承認された電源コードが付属しており、家庭用コンセントに差し込むことを想定して設計されています。他の電源コードや電源タップは使用しないでください。電源コードを交換する場合は、お住まいの地域に適した電源コードについて、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書に指示されている場合を除き、ロボットや充電ステーションを開けないでください。電子部品にはお客様が修理できる部品はありません。修理が必要な場合は、資格を持つサービス担当者にご連絡ください。
- 感電のリスクを防止するために、必ず濡れていない室内で使用してください。
- ロボット本体や充電ステーションに濡れた手で触らないでください。
- 充電器は必ず純正のものを使用してください。純正以外の充電器を使用されますと、バッテリーが加熱したり、煙や着火、爆発が発生したりする原因になります。
- ロボットは玩具ではありません。ロボットを使用する際には、小さなお子様やペットに注意してください。
- ロボットや充電ステーションの上に座ったり、立ったりしないでください。
- ロボットは室温で保管し、使用してください。
- 清掃する部屋にロフト等、高い場所や不安定な場所がある場合は、ロボットがそのような場所に出ないようにドアを閉めるなど、物理的に遮る必要があります。安全に配慮してご使用ください。

- 段差センサーの汚れを清掃してください。
- 清掃する部屋にストーブ、扇風機、スペースヒーター、加湿器などの機器がある場合は、使用前に移動させてください。ロボットが接触して機器が押されるなどすることにより、火災、けが、事故、故障を招くおそれがあります。
- ロボットは、濡れていない床のみでご使用ください。濡れたものをロボットで吸わないでください。ロボットや充電ステーションを濡らさないようにしてください。



- 電源コンセントが露出している床での使用は避けてください。
- 本製品を、とがったもの、ガラス、燃えているものや煙が出ているものの清掃には使わないでください。
- ロボットは自走式です。ロボットが清掃している場所を歩くときには、誤って踏んだり、つまずいて転んだりしないようにご注意ください。
- ロボットが電源コードを引っ張ると、テーブルや棚の上にある物に引っかかり、落下する恐れがあります。ロボットを使用する前に、床から衣類、紙類、ブラインドやカーテンの紐、電気コード、その他壊れやすいものを取り除いてください。ろうそくの火を消してください。電気ストーブ等をオフにしてください。
- ロボットと充電ステーションを安全にご使用いただくために、取扱説明書の記載に従って必要なお手入れを行ってください。

注意

- ロボットや充電ステーションの上に物を置かないでください。
- 充電用接続部が汚れていると、ロボットのバッテリーを正しく充電できないことがあります。

- カーペットやラグをロボットで清掃する前に、バーやブラシを備えた掃除機を使用できるカーペットまたはラグであることを確認してください。使用できないカーペットやラグをロボットで清掃しようとすると、カーペットやラグが傷む可能性があります。ご不明な点や使用できるかどうかについては、カーペットやラグの製造元にお問い合わせください。

充電ステーション



警告

- 本製品が動作していない、落下した、破損した、屋外に放置された、または水に落とした場合は、サービスセンターにお問い合わせください。
- コードやプラグが破損した充電ステーションは使用しないでください。コードやプラグが破損した場合は、交換する必要があります。
- 清掃とお手入れの際は、必ず充電ステーションからロボットを取り外してください。
- 充電ステーションを踏み台として使用しないでください。
- ロボットに充電する際は必ず、製品に付属の電源を使用してください。この電源では、ロボットの安全な動作を保つために必要な入力電圧に対応する安全特別低電圧を使用しています。
- ロボットが落下するリスクを防止するには、階段から1.2メートル以上離れたところに充電ステーションを設置します。
- 充電ステーションに液体がかかったり入り込んだりしないようにしてください。

注意

- 電力変換器は使用しないでください。電力変換器を使用すると、保証が無効になります。
- 落雷の多い地域にお住まいの場合は、追加のサージ保護装置を使用することを推奨します。サージ保護装置を使用すると、激しい落雷による被害から充電ステーションを保護できる場合があります。

バッテリー



警告

- 開けたり、壊したり、80℃を超えたりしないようにしてください。取扱説明書の記載に従って、使用、お手入れ、取り扱い、破棄を正しく行ってください。
- 金属類をバッテリー端子に近づけたり、液体に浸したりして、バッテリーをショートさせないでください。バッテリーに機械的衝撃を与えないでください。
- リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品(バッテリーを内蔵したもの)を、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、必ず、取扱説明書の「困ったときは」を参照するか、その手順についてアイロボットサービスセンターにお問い合わせください。
- バッテリーパックに破損や液漏れがないかを定期的に確認してください。損傷したバッテリーや液漏れしたバッテリーを充電しないでください。液が身体に付いたり目に入ったりしないように注意してください。液が身体に付いたり、目に入ったりした場合は水でよく洗い流し、医師に相談してください。バッテリーは、密封できるビニール袋に入れ、お住まいの地域の環境規制に従ってリサイクルするか、安全に破棄してください。



危険

- お子様がバッテリーをいじらないようにご注意ください。セルやバッテリー端子を飲み込んでしまった場合は、医師に相談してください。

注意

- バッテリーパックはリサイクルまたは破棄する前に、ロボット本体から取り外してください。
- ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。
- 非充電式のバッテリーは使用しないでください。製品に付属の充電式バッテリーのみを使用してください。交換する場合は、同じiRobotバッテリーを購入するか、他のバッテリーの選択についてアイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- バッテリーは常に充電し、長期間保管する場合はロボットと付属品から取り外してください。



バッテリーのこの記号は、バッテリーを分別されていない一般廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを示しています。エンドユーザーとして、次のように環境に配慮した方法でお使いの機器の使用済みバッテリーを廃棄する責任があります。

(1) バッテリーを処分・廃棄する場合は、お住まいの地域の廃棄ルールに従ってください。

(2) 指定の回収場所に届ける

廃棄時に使用済みバッテリーを個別に収集してリサイクルすることで、天然資源を保護し、人間の健康と環境を保護する方法でバッテリーが確実に再利用されます。詳細については、最寄りのリサイクルオフィスまたは製品を最初に購入した販売店にお問い合わせください。使用済み電池を適切に廃棄しないと、電池や蓄電池内の物質が原因で、環境や人の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。

使用上のご注意

ルンパは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。ルンパを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使用できない場所

傷みやすい敷物や床材、壁材

- ・毛足の長いカーペット
- ・デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- ・柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ・ワックス塗りたて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- ・デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

ロボットが故障しやすい場所

- ・毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- ・高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ・ストーブなど高温になる機器の周辺
- ・タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

ロボットが落下する恐れのある場所

- ・吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフト
- ・急こう配の階段
- ・テーブルの上など狭くて高い場所など

事前に準備（片づけ、移動）が必要なものや場所

安全かつ快適にご使用いただくためのご注意として清掃の前に、壊れやすい物、吸い込まれると困る物は片づけてください。

とりわけ、スケジュール機能やホームアプリなどを使用して外出時に清掃を行う場合は、入念に事前準備を行ってください。

保護する必要があるもの（ルンパが振動を与えたり接触する可能性があります）

- ・漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など
- ・軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など
- ・机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- ・吸い込まれやすいもの（アクセサリーなど）

移動する、片付ける必要があるもの

- ・水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）を含むすべての液体
→片づけてください
- ・電気ストーブ、扇風機などの電化製品
→電気コードを抜いて移動してください
ロボットが衝突して機器が移動・転倒し、火災や破損につながる可能性があります
- ・ベットなどの排泄物
→片づけてください
- ・電気機器やパソコンのコード
→絡まないようにまとめてください
- ・カーペットやマットの端の長い房など
→内側に折り込んでください
- ・床につくほどの長いカーテン
→持ち上げてまとめてください
- ・床面近くに操作部のある機器
→移動してください

ロボットが当たって機器の操作部を押すことがあります

- ・タバコ、ろうそく、線香などの火気
→片づけてください
- ・粘着性のあるもの（粘着式の害虫駆除シートなど）
→片づけてください
- ・布団、座布団、クッションなど
→片づけてください
- ・書籍、冊子、雑誌など
→片づけてください

落下防止のための注意が必要な場所

- ・階段、踊り場、ロフトなど
- ・玄関の上がりがちな道

上記のような段差のある場所では、バーチャルウォールまたは物理的な障害物を設置してください。

ルンパの動作を妨げる場所

- ・高さ10cm未満の狭い場所を、ロボットは走行できません。ロボットの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- ・床の敷居や段差などは、高さによりロボットが乗り越えられない可能性があります。走行中に引っ掛かってしまう場合は、ロボットが入り込まないように準備してください。
- ・床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

バッテリーの正しい使いかた

ロボットは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

注意 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- ・落下などにより強い衝撃を与える
- ・電源コンセントに接続されていない充電ステーションに、ルンパを接続する
- ・充電ステーションに接続せず、バッテリーをルンパに入れたまま1週間以上放置する
- ・取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
- ・直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

注意 充電開始後は、バッテリーアイコンが緑色に点灯するまで中断せずに充電してください。

- ・充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなる場合があります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ロボットを使用してください。
- ・使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも1週間に一度使用するが、充電してください。1週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。
- ・ロボットの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに1

週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなら破損したりします。

- ・ロボットをご使用にならない場合でも、常に充電してください。
 - ・充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。
 - ・バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにゼロハンテープなどを貼ってください。
- お問い合わせ：JBRC
<https://www.jbrc.com/>



電波に関するご注意

・製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。

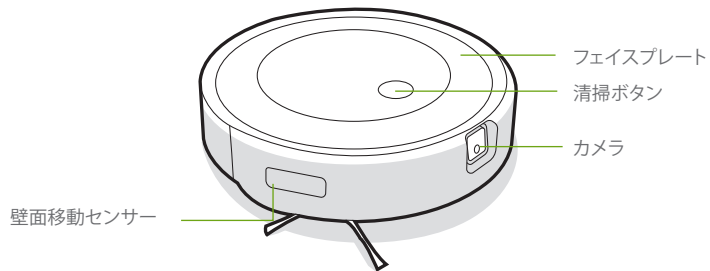
・以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。

- ・産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
- ・免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
- ・免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局）
- ・以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- ・特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。
- ・5GHzの周波数帯は、電波法の規定により屋外で使用できません。

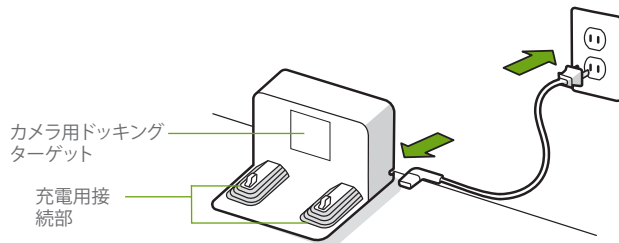
ロボット掃除機 ルンバ®

JP

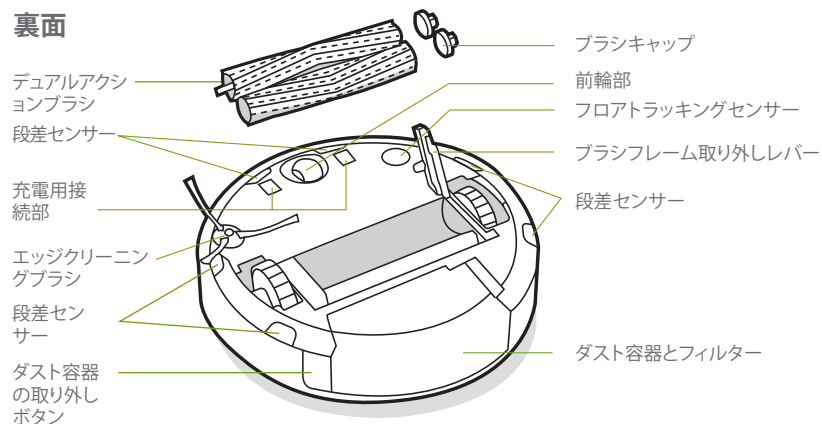
天面



ホームベース™充電ステーション

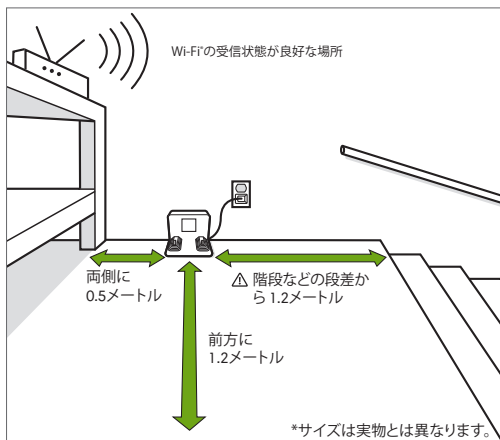


裏面



ロボット掃除機ルンバ®を使う

ホームベース™充電ステーションを設置する



メモ: 充電ステーションを直射日光が当たる場所に配置しないでください。ドッキングがスムーズに行われるよう、充電ステーションの周りを片付けてください。

警告: ロボットが落下するリスクを防止するには、階段から1.2メートル以上離れたところに充電ステーションを設置します。

iRobot Homeアプリをダウンロードして、ご自宅のWi-Fi®ネットワークに接続する

- 説明に従いルンバを設定してください。
- Precision Vision Navigation™を使用して、障害物をリアルタイムで避けることができます。
- 自動的に清掃を開始するスケジュール機能や、清掃モード設定のカスタマイズができます。
- スマートマップを作成して、いつどこを清掃するかをロボットに指示できます。



充電中



充電中はリング状のランプの点灯部分が回転
白色の回転: 充電中
赤色の回転: 充電中、バッテリー残量低下
白色の点灯は、ロボットのバッテリーがどの程度充電されたかを示します。

- ロボットを充電ステーションの上に置いて 起動します。

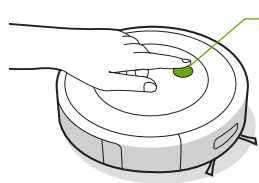
メモ: ロボットは出荷時に一部充電されていますが、購入後、初めて清掃する際には充電ステーションで約3時間充電することをお勧めします。



ロボットの充電が完了すると、リング状のランプ下部が白色で断続的に点滅します。

- 充電ステーションに置かれている間、ロボットが消費する電力はわずかです。使用していないときに、ロボットをさらに省電力状態にすることもできます。ロボットを省電力スタンバイモードにするには、ダスト容器を取り外し、清掃ボタンを5回押します。省電力スタンバイモードを終了するには、ロボットを充電ステーションの上に置き、清掃ボタンを押します。省電力スタンバイモードの詳細については、当社ウェブサイトのFAQをご覧ください。
- 長期間保管する場合は、ロボットを充電ステーションから取り外し、車輪を片方床から持ち上げた状態で清掃ボタンを3秒長押しして、ロボットの電源を切ります。ロボットは涼しく乾燥した場所に保管してください。

清掃する



清掃ボタンを押すだけ
開始/一時停止/再開するにはボタン
を押します
清掃を終了するには2～5秒間長押
します

- ロボットが前面のカメラを使い障害物を避けながら、無駄のない動きで各部屋を移動して清掃します。清掃終了時や、充電が必要になると充電ステーションに戻ります。



ロボットは物体を認識して避けることができます。しかしながら、清掃を開始する前に床の上を片付けることをお勧めします。

- 清掃を終了し、ロボットを充電ステーションに戻すには、清掃ボタンを2～5秒長押しします。リング状の青いランプが点滅したら、充電ステーションに戻ります。
- ゴミが多い場所ではダートディテクト™モードに切り替わり、前後に動いてそのエリアを重点的に清掃します。リング状のランプが青色の点滅に変わります。

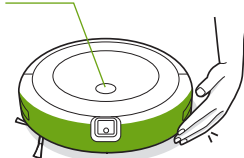


ダスト容器を空にする必要があると感知すると、リング状のアイコンは下方向に向かって弧を描きながら赤色に点灯します。

エラーの解消

- 何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラー音が鳴り、リング状のランプが赤色に変わります。詳細を確認するには、清掃ボタンを押すか、バンパーを押します。詳しいサポートについては、iRobot Homeアプリをご覧ください。

リング状の赤いランプ



バッテリー残量が低下しています。充電してください。

- 90分以上操作が行われないと、ロボットは自動的に清掃を終了します。

バッテリーの安全基準と輸送

ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。

⚠ 警告: リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品を、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- 輸送時にはバッテリーの電源をオフにします。
- バッテリーをオフにするには、ロボットを充電ステーションから取り外し、片方の車輪を床から持ち上げた状態で清掃ボタンを3秒長押しします。すべてのアイコンが消灯します。
- 配送するためにロボットを梱包します。
- その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせいただくか、<https://www.irobot-jp.com/>をご覧ください。


お手入れ

お手入れの手順

ロボットの清掃能力を最適に保つために、以下のページの手順を実行してください。

使い方の解説動画は、iRobot Homeアプリからご覧いただけます。ロボットの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやブラシを清掃してください。

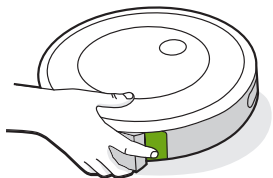
パーツ	お手入れの頻度	交換時期の目安*
ダスト容器	必要に応じて洗浄	
フィルター	週1回(ペットがいるご家庭では週2回)を目安に清掃します。フィルターは洗わないでください。	2か月ごと
ゴミセンサー	2週間に1回を目安に清掃する	
前輪部	2週間に1回を目安に清掃する	12か月ごと
エッジクリーニングブラシとデュアルアクションブラシ	月1回(ペットがいるご家庭では月2回)を目安に清掃する	12か月ごと
センサーと充電用接続部	月に1回を目安に清掃する	
カメラウィンドウ	月に1度を目安に清掃と点検を行ってください	

 メモ: アイロボット製品にはさまざまな部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでご連絡ください。

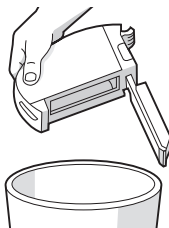
*使用状況により、交換時期の目安は異なります。摩耗した場合は部品を交換する必要があります。

ダスト容器を空にする

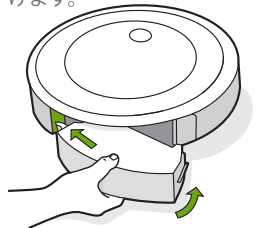
- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 ダスト容器のフタを開けて、ダスト容器を空にします。

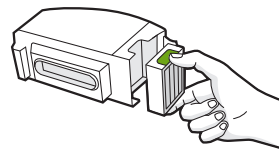


- 3 ダスト容器をロボットに取り付けます。



フィルターを清掃する


- 1 ダスト容器を取り外します。フィルターの両端をつまんで引き出し、フィルターを取り外します。



- 2 ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを取り除きます。



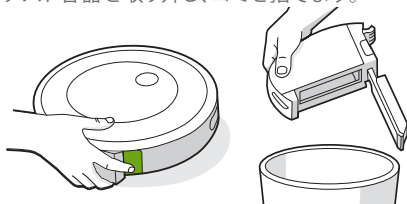
- 3 うね状に隆起したグリップを裏返してフィルターを取り付けます。ダスト容器をロボットに取り付けます。

 **重要:** フィルターが正しく取り付けられていないと、ロボットは動作しません。フィルターは2か月ごとに交換してください。

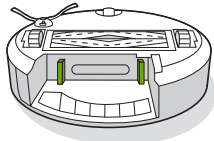
JP

ゴミセンサーのお手入れ

- 1 ダスト容器を取り外し、ゴミを捨てます。



- 2 センサーを乾いた清潔な布で拭きます。

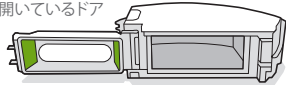


- 3 ダスト容器のフタを乾いた清潔な布で拭きます。

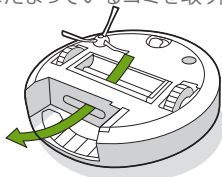
閉まっている
ドア



開いているドア

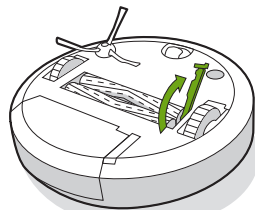


- 4 吸引口にたまっているゴミを取り除きます。

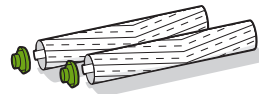


デュアルアクションブラシを清掃する

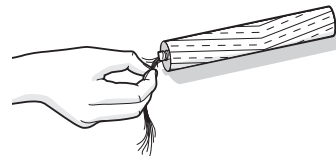
- 1 ブラシフレーム取り外しレバーを内側に寄せ、レバーを持ち上げて、異物を取り除きます。



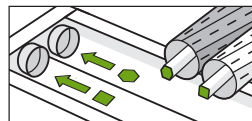
- 2 ブラシをロボットから取り外します。ブラシの端にあるブラシキャップを取り外します。キャップの内側から髪の毛やゴミを取り除き、ブラシキャップを取り付けます。



- 3 各ブラシの反対側にある四角形と六角形の軸の周りにたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。

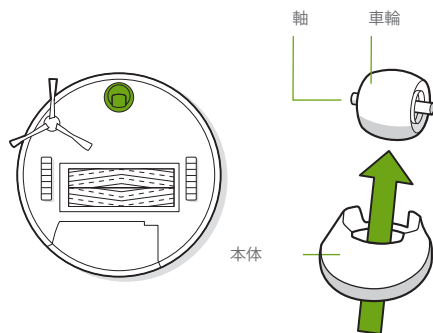


- 4 ブラシをロボットに取り付けます。ブラシの軸の形を、本体側のブラシのイラストの形に合わせてください。



前輪部のお手入れ

- 1 前輪部をつまみ、本体から上に引き抜きます。
- 2 車輪をつまみ、引き抜きます(イラスト参照)。
- 3 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 4 ゴミが取れたらすべての部品を元に戻します。前車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。

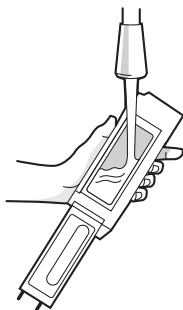


- * **重要:** 前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。お手入れしても前輪の動きが悪い場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

ダスト容器を洗浄する

- * **重要:** フィルターは洗わないでください。ダスト容器を洗浄する前にフィルターを取り外します。

- 1 ダスト容器からフィルターを取り外し、ダスト容器のフタを開きます。
- 2 水またはぬるま湯でダスト容器をすすぎます。

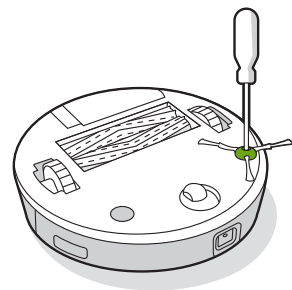


- ☒ **メモ:** ダスト容器は食洗機では洗浄できません。

- 3 ダスト容器が完全に乾いていることを確認してください。フィルターをダスト容器に戻し、ダスト容器をロボットに取り付けます。

エッジクリーニングブラシのお手入れ

- 1 エッジクリーニングブラシを持ったまま、プラスドライバーを使ってネジをゆるめます。
- 2 エッジクリーニングブラシを取り外します。髪の毛やゴミを取り除き、元に戻します。

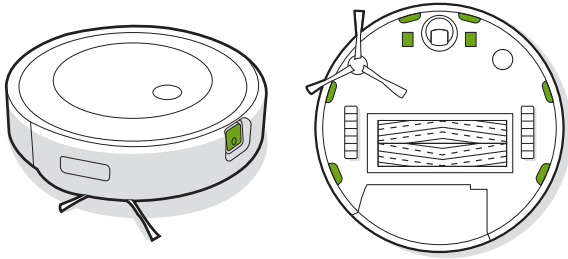



アイロボットサービスセンター

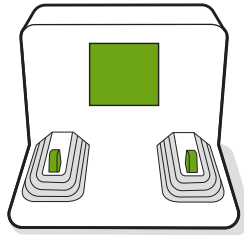
各種センサー、カメラウィンドウ、 充電用接続部のお手入れ

1 段差センサー、カメラウィンドウ、ロボットの充電用接続部、ホームベースの接続部を乾いた清潔な布で拭きます。

 **メモ:** カメラウィンドウにひびが見つかった場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。



 **重要:** センサーに洗浄液などを吹き付けないでください。



ロボット掃除機ルンバに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

<https://www.irobot-jp.com/>では、使用方法やよくあるご質問、付属品などに関する情報をご案内しております。この情報は、iRobot Homeアプリからもご覧になれます。さらなるサポートが必要な場合は、当社のアイロボットサービスセンターまでお電話ください。

アイロボットサービスセンター

- TEL:0120-046-669 (通話無料)
- 受付時間 9:30～17:30 (月～日曜日及び祝祭日)
- 注意: 修理のために交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。製品を使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。
- 上記電話番号は、携帯からもご利用いただけます。
- 午前中は大変混みますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、次の目的で利用させていただきます。お問い合わせへの対応、アフターサービスの提供、製品およびサービスの品質向上のアンケート、キャンペーンその他イベントの案内(ダイレクトメール、電子メールを含みます)。詳細は <https://www.irobot-jp.com/policy/> をご確認ください。

The iRobot logo, featuring the word "iRobot" in a bold, italicized, sans-serif font. The "i" is lowercase and has a dot, while "Robot" is entirely uppercase.

©2021 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA. All rights reserved. iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ® Home Base、ホームベース、Dirt Detect、ダートディテクト、Precision Vision Navigation はiRobot Corporationの商標または登録商標です。Wi-FiおよびWi-FiロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの登録商標です。App storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

